



スマイル! TOGO

自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

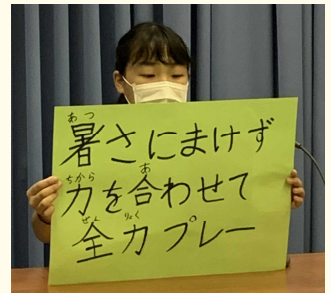
福井市東郷小学校 学校だより
令和5年9月25日 第16号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

校内体育大会を「自分たちの大会だから、自分たちで動かす」機会に



先週末よりやっと、最高気温が30度を下回る日が出てきました。熱中症対策をとりながら、体育大会の練習がスタートしています。

ただ、今年の練習は、ひと味違います。体育大会の全体練習が、6年生による進行で行われています。練習してうまくいかなかった時は、6年生が「もう一度やりましょう」と全校児童に声をかけ、進めています。今年は4年ぶりに「応援タイム」も設けます。その練習も、応援リーダーたちが全て仕切っています。開会式後に行う準備体操の練習も、体育委員会の5、6年生が中心となって進めていました。



全体練習初日(21日1限目)、体育主任の小出先生から全校児童に「今年から6年生が全体練習の時に前に出て、進行します。やりたいと言って出てくれた6年生です。なんで6年生が前に出ているのか、分かるかな。」と問いかけました。すると5年生中心に手が挙がり、HさんとNさんが「チャレンジ。学校の目標にあるように、(失敗を恐れず)挑戦するから。」と答えてくれました。その通りです。「自分たちの体育大会だから、自分たちで考

て実行する」動きがここでも始まっています。ただ、体育大会の練習を自分たちで動かしていくことは児童にとって初めての経験ですから、スムーズにはいきません。でも、思うようにいかなかったことこそ財産、そこから児童は考え、次に生かしていくのだと思います。つつい効率を考えがちな大人も忍耐です。児童に(失敗も含めて)経験を積ませることを最優先にして、見守っています。

その日の2限目、体育館からは2年生準備体操の大きなかけ声が、校長室まで届いてきました。大休みはグラウンドで3～6年のリレー練習があり、6年生を中心に、先生の指示でなく自分たちで動き、最後までやり通していました。4限目は5年生教室で、最後の方に少し時間があつたので、私から「6年生、今日は前に出て頑張ってたね。次は誰の番なのかなあ。」とつぶやくと、5年生から「ぼくたちの番です!」と元気な声が返ってきました。少しずつ、少しずつ、「児童による児童のための」動きが学校生活や学校行事を通して広がっているのを実感します。



28日の体育大会本番が楽しみです
ですね。



最近の活動から ～たくさんの人や地域と関わって活動しています！～

9/11(月) サイエンスクラブ 福井工業大学の先生をお招きしました



「科学実験キャラバン」事業の一環として、福井工業大学より先生を招き、「コチコチ魔法の水～液体窒素を使ってマイナス196度の世界を体験してみよう～」と題し、小学校ではできない実験を目の前で見せていただきました。風船やお花、ハンカチなどを一瞬で凍らせる液体窒素のすごさを見ました。実際に凍った花をさわったり、パリパリと音を立ててくずれおちていく様子も体験させてもらいました。液体窒素の不思議についてたくさん質問することもでき、サイエンスクラブの子どもたちは満足した様子でした。



9/12(火) 3年生・5年生 足羽川用水のお話をお聞きしました

昨年に引き続き、県福井農林総合事務所より講師をお招きし、足羽川用水についてのお話をお聞きしました。学校田で米作りを行っている3年生、社会の授業で農業用水について学習している5年生が聞きました。農業が今と昔では大きく様変わりしていることや、田んぼや用水路が実は水害の抑止にも活用されていることなどを学びました。そして、パイプラインの



仕組みについてです。遠くまで確実に水を送るために、水の性質をうまく利用していることなどを、実験を通し、目で見てはっきりと学ぶことができました。これからまとめ学習に生かしていきます。

9/14(木) 東郷こども園5歳児さん訪問、1年生がやさしくリードしました

今年も、1年生は5歳児さんと一緒に体育大会の競技を行います。5歳児さんが練習に来てくれました。1年生が5歳児さんに向かって優しく声をかけながら進行していました。その姿はもう、立派なお兄さん、お姉さんでしたよ。1年生に「だれかのためにがんばる。やさしくする」という心が育っています。頼もしくなってきた1年生です。



9/24(日) ふれあい文化祭に、児童作品を出品しました

4年ぶりに本格開催となったふれあい文化祭に、児童の作品が並びました。たくさんの方に見ていただきました。

